

映画会

ジェイン・ジェイコブズ

— ニューヨーク都市計画革命 —

上映時間
92分
2016年
アメリカ



都市は誰がつくり、誰のためにあるのか？

私たちの暮らす「まちの未来」を照らす建築ドキュメンタリー

2021年1月9日(土) 予約制

板橋区立グリーンホール2階ホール 参加費 1000円(当日入口で)
(板橋区栄町36-1) 東武東上線「大山」下車3分 都営三田線「板橋区役所前」下車7分
上映開始時間 ①14:00 ②16:15 ③18:30 (入場は30分前より)

1950年代のアメリカはモダニズムを背景にした画一的で自動車中心の街は、合理的に作られていたはずが、次々に活力を失う。ジェイコブズはそこで暮らす人々の視点で観察し、魅力的な街を作るための独創的なアイデアをつかみ、天才的な洞察力と行動力で、仲間たちと立ち上がり、強引に押し進められる開発プロジェクトを阻止し、それまでの都市計画を根底から覆した。「街を元気にする4大原則」とは？

2021年新春企画 あなたの住むまちの未来をいっしょに考えましょう！

<http://janejacobs-movie.com/> インターネットで検索すると1分半の予告編が見られます。



お申込みはインターネットでお願いします。電話またはFAXも可能です。

パソコンの方は下記 URL <https://bit.ly/37aSp1>

または「住まいとまちづくりコープホームページ」<http://sumaimachi.net>

会場はホールのため、場所によっては見えにくいところがあります。ご了承ください。



主催 住まいとまちづくりコープ

千代崎/山下

お問合せ先

TEL 03-5986-1630 FAX 03-5986-1629

〒174-0072 板橋区南常盤台 1-38-11 福興電気 1F

Mail sumaimachi@sumaimachi.net

協賛：新建築家技術者集団東京支部／都市住宅とまちづくり研究会

ジェイン・ジェイコブズ

ーニューヨーク都市計画革命ー

まちづくりを考え、行動する人を増やす映画会です。

女性の活動家も映画の中でたくさん証言をしています。

近隣への影響も考えない身近な「小さなまちこわし」が進んでいます。将来への見通しもない中で、ディベロッパーと行政が一体となつての「都市計画」や「大きなまちこわし」がおこなわれています。

これではいけないと思う仲間や良心的な知識人、住民派の専門家を探し、一緒に行動を起こしていくきっかけになればと上映会を企画しました。

マット・ティルナー監督のステートメント

1950年代ニューヨークのワシントンスクエア公園の真ん中を通る4車線の高速道路を走らせたい、ディベロッパーやニューヨーク市と州の公共事業を取り仕切っていたロバート・モーゼスたちによる都市計画に対して、ジェイコブズをはじめとするグリニッジ・ビレッジの住民と活動家たちは、正式な異議申し立てを行なった。彼女たちは近隣住民とともにコミュニティを形成し、市を相手どり道路建設への反対運動を展開した。反対運動の輪は次第に広がり、あらゆるレベルの市庁職員に手紙を書くキャンペーンを通して、ジェイコブズと仲間たちはついに勝利を手にし、モーゼスの公園を破壊する計画は流れた。

今日これとよく似た闘いがある。それはバーニー・サンダース氏の選挙キャンペーンであり、一般市民を顧みない権力者のトップダウンのやり方に飽き飽きした人々による草の根運動だ。

僕は本作で都市に対する市民の権利の主張、そして今から半世紀以上も前に繰り広げられたワシントンスクエア公園に関するジェイコブズたちの闘いについて描いた。

現代のビッグバンクの役割や1パーセント程度の符号による政治的影響への抵抗と同じように、ジェイコブズとグリニッジ・ビレッジの住民運動メンバーは、一般市民が、表面上は市民に仕えているように見せながら、実は個人に忍耐を強いる権力構造に対して闘ったのだ。彼女は彼女が生きた時代において唯一無二であり、現代の見苦しい政治的な陰謀を暴くために信頼に足る人物だと思う。

上映会場のある板橋区の「都市計画」

首都高5号線が通っている板橋区にさらに首都高の延伸計画が出された。山手通り（環状6号線）からの中央環状王子線である。お隣の豊島区では「地下化」という要求が持ち上がった。先の中野区、新宿区は地下方式だ。豊島区では行政も一緒になって運動をした結果、豊島区は地下化ができ、地上に出る箇所が板橋区に移動させました。豊島区のようなことができる板橋区の都市計画行政を求めたいです。

蓮根駅前のコビト製菓工場跡に超高層マンション建設の総合設計制度、都市計画決定までされたが、住民の反対運動で建設中止になった。ここまで進んで中止になったのは先にも後にもないと聞いている。また埼玉から荒川を渡ったあと二子多摩川のような開発をしたかったと聞いている。このときも都市計画委員会は「以前に終電ぎりぎりのときがあった」と話した。帰りは午前3時になった。

新型コロナウイルス感染対策について

- 会場の収容人数は250名です。密集をさけるために定員の半数とします。
- 入場の際は、検温、手の消毒、マスク着用をお願いします。
- 体調がすぐれない方は、ご来場をお控えください。
- 換気のため、温かい服装でご来場ください。
- 今後の感染状況では、変更が生じる場合があります。変更が生じた場合はメールにてご連絡します。